

マスク着用の考え方

および2歳以上のマスク着用について

厚生労働省より、マスク着用の考え方および就学前児の取り扱いについて以下の基準が示されました。

子どものマスク着用については、これまでも2歳未満（乳幼児）については勧めておらず、取り扱いに変更はない。

施設内（保育園等）に感染者が生じている場合は、管理者等の判断により、可能な範囲でマスク着用を求めることは考えられる。この場合も、マスク着用を強要することがないよう留意する。

保育園等における2歳以上の就学前の子どもについては、個々の発達や体調等を踏まえる必要があることから、他者との距離に関わらずマスク着用を一律に求めない。

【マスク着用の考え方】

他者との距離 = 身体的距離

	身体的距離（2m以上が目安）が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内※1	屋外※2	屋内※2	屋外
会話する	着用を推奨 （十分な換気など感染対策を講じている場合は外すことも可）	着用の必要なし 【事例】 ・離れて行う運動（ランニング等） ・鬼ごっこなど密にならない遊び	着用を推奨 ・通勤電車や換気が不十分な部屋等	着用を推奨
会話をほとんどしない	着用の必要なし			着用の必要なし ・徒歩通勤、散歩等、屋外で人とすれ違う程度の場合

※1 外気の流入が妨げられる建物の中、地下鉄、公共交通機関など。

※2 夏場においては熱中症予防の観点から、屋外の「着用の必要はなし」場面でマスクを外すことを特に推奨します。状況に応じた適切な着用をお願いします。